

糖尿病療養指導士兵庫県連合会 エキスパート研修

なぜ今、インスリンポンプなのか？

— 知識で終わらせない。明日から使える CSII 研修 —

「興味はある」から「自信をもって使える、指導できる」へ。

インスリンポンプの基礎から実践までを、

現場目線でわかりやすく学びます。

2026年6月21日 10時～16時

神戸臨床研究情報センター（神戸市中央区）にて開催



企業 HP より引用

ミニメド™780G システム



企業 HP より引用

メディセーフ ウィズスマート



大学 HP より引用

講師：廣田 勇士先生（神戸大学大学院医学研究科
糖尿病内分泌内科学部門准教授）
その他多数予定

インスリンポンプの最前線を、神戸大学・廣田先生から学ぶ

CSII研修SBOs

CSII とは Continuous Subcutaneous Insulin Infusion の略で持続皮下インスリン注入療法のこと、インスリンポンプを使用して治療を実施します

SB0s とは (Specific Behavioral Objectives) 、教育・研修分野で使われる「具体的行動目標」のこと、学習者が研修を通じて「具体的に何ができるようになるべきか」を明確に示したもの。一般的な目標 (GIO: General Instructional Objective) を達成するために、観察可能で測定可能なレベルで「〇〇ができる」という形で表現され、教育の標準化や客観的な評価に役立ちます。

研修項目	一般目標(GIO)	到達目標(SB0s)	知識	技能	態度
CSII	安全かつ有効な薬物療法を導入・継続するために、CSIIの特徴および作用機序ならびに関連するリスクを、インスリン製剤の特性を踏まえて理解し、適正なインスリンポンプの取り扱いと血糖管理について説明できる	CSII の基礎が理解できる	○		
		CSII の適応について説明できる	○		
		最新のインスリンポンプ機器の概要と構造、血糖管理における利点について説明できる	○		
		最新のインスリンポンプの操作方法、機能について説明し、操作することができる(消耗品、付属品含む)	◎	◎	
		在宅管理上の注意点について説明できる	○		
		CSII 患者指導のポイントを理解し(SMBGの活用、物品の廃棄方法等)、指導ができる	○		◎
		インスリンポンプの打ち忘れの対応などを概説し、適切な指導を行うことができる	○		○
		基礎レートとボーラスインスリンの必要性について理解し、説明できる	○		
		カニューレ交換の手順について説明でき、操作できる	○	○	
		X線、CT、MRI等の検査時のインスリンポンプの適正な取り扱いについて説明できる(医療安全の観点)	○		
		主なアラーム表示と内容について説明でき、適切に対処できる	○	○	
		代表的なトラブル事例を挙げその対処ができる予防法について説明できる(トラブル、閉塞等)	◎	◎	
		CSII に関する保険診療について理解できる	△		
		SAP療法 の基礎を理解できる	△		

CSII(Continuous Subcutaneous Insulin Infusion: 持続皮下インスリン注入療法)
SAP療法 (Sensor augmented Insulin Pump Therapy: パーソナルCGM機能を搭載したインスリンポンプ療法)

達成度目標

- ◎ 80%以上の理解
- 70%以上の理解
- △ 60%以上の理解